

ティーボール審判について

尾張JPスポーツでは、審判員は判定するだけでなく、子供たちに正しくスポーツ(野球)を教える役目を行うとする。審判＝先生とする。

まだ、野球に慣れていない子供たちに対して注意するのではなく、教えてあげて徹底的に徹底する。

《審判員の心得について》

1. 毅然とした態度で試合に挑む！

2. 大きな声で、大きなジェスチャー！

きわどいタイミングは大きな声で、大きなジェスチャー！

3. 動きながらのジャッジはしない！

必ず止まって(制止する)、アウトの場合は一呼吸おいてボールを確保しているのを確認してからコールする事！

(ティーボールはアウトのタイミングでも落球する 경우가非常多いので)

4. ボールから目を離さない！

5. 試合時間の短縮！

攻守交替は必ず駆け足をさせる。

ベースのゆがみ等はインングの合間などを見て直す。

お願い

審判員は、試合中自軍の選手に対しての指示は控えること。外野の線審も含む。

両チームの選手を褒めるなどの応援は除く。(ナイスプレイ、ナイスバッティングなど)

《プレイの開始と停止》

(1) プレイの開始と停止

① プレイの開始

a) 残塁走者及び守備側選手9名が定位置に着いたのを確認し、球審が「プレイ」を宣告する。※キャッチャーの位置を必ず確認を徹底する。

② プレイの停止

a) 本塁手がバッターサークル内で送球を捕球または触れる、ファウルラインを越えた時に「タイム」を宣告する。

b) 本塁手への送球が逸れて捕球しにバッターサークル内から外れて捕球及び捕り損ねた場合でも「タイム」を宣告する。

※危険が予測される場合は、いつでも「タイム」の宣告をかけることができる。

(2) 球審及び塁審が「タイム」の宣告が早い方が効力を発する。

(3) 挟殺プレイ(ランダンプレイ)は「なし」とする。

始まった時点で「タイム」を宣告し、プレイを止める。

(4) ファウルラインを超えた場合は「タイム」を宣告し、プレイを止める。

テイクワンの適用はしない。

「タイム」をかけた時点の走者が塁に達していない場合は、直前の塁に戻す。

《打撃規定》

(1) 打者がボールを打たないでティーを打った(ティーが倒れる)時はファウルでワンストライクを宣告する。

但し、フライの場合ノーバウンドで捕球したときはインプレイで「アウト」とする。

(2) 正規の打球でもポテポテのゴロで守備者がアウトに出来ないと判断したら『ファウル』とする。

但し、幼児や初めての子は除く。(球審の裁量とするが、両チーム平等とすること)

(3) 攻撃時の軸足の移動は1歩までとする。故意に2歩以上動かした時は、ワンストライクとする。

(4) バントやプッシュバントは認められない。ワンストライクが与えられる。

三振はなしとする。

(5) インフィールドフライ、コールドゲームは適用しない。

《守備規定》

- (1)内野手は、打者が打撃完了するまでは、塁間を結ぶ線(ライン)より1m以上後方を守備位置とする。※打者走者、走者と内野手の衝突防止するため。
※極端な守備位置はしないよう指導する。
- (2)本塁手は打者が攻撃をするまで、打者の反対側に位置し、バッターズサークルの外に位置する。キャッチャーの位置を必ず確認し、安全を徹底する。
- (3)本塁手がバッターサークル内で送球を捕球または触れる、ファウルラインを越えた場合に「タイム」を宣告する。
- (4)チーム事情によって人数が満たない場合は、母親3名まで守備が可能とし、守備位置は本塁手と外野手とする。

《走塁規定》

- (1)走者は打者が打った後、離塁することが出来る。走者の離塁が早い時は走者アウトとする。
- (2)盗塁(ホームスチール)及びリードは認められない。
- (3)原則としてスライディングは禁止とし、走者アウトとする。但し、野手と走者の接触を避ける際は除く。
- (4)走者は1塁、2塁、3塁での駆け抜けは認められる。
 - a)走者は塁ベースを駆け抜けた後、進塁の意思がない場合、野手にタッチされてもアウトにならない。
 - b)進塁中のタッチプレイは有効であり、タッチされれば走者アウトとする。

《注意事項》

- ①常にボールから目を離さない。
- ②一つのプレイに二人の審判が判定を下すダブルコールは厳禁です。
- ③プレイに対し最も適切な角度と距離をとるようにし、必ず静止して判定を下します。
厳しいときは距離より角度を重視します。
- ④判定はあわてず、しっかり確認し、宣告します。
- ⑤ファウルライン付近の打球は、一、三塁ベースまでは球審、それより以遠は塁審が宣告します。(ダブルコールに注意する)
- ⑥内野フライは原則として球審が宣告します。

試合中に問題が発生した場合は、審判員同士で協議し結論を出し、両チーム監督に説明する。